

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.	37-007
担当	加藤
内線等	481

PDCA	事務事業名	汚水整備事業	部課等名	水道部下水道課汚水担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第3節 生活環境の向上 基本施策： 2. 汚水処理 単位施策： (1) 公共下水道 個別施策： ①施設の整備と維持管理					
	根拠法令等	下水道法					
	対象・目的	老朽化した管渠等の布設替えを行うことにより、不明水を減らし維持管理費の低減を図る。下水供用開始区域内の未接続世帯に対し、早期接続を促すことにより、使用料収入の増収に併せて生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	旧区画整理地区において、送煙調査及び老朽管の布設替え等を実施し、施設の機能維持を図る。新築など新規の下水道接続需要に応えるため、開発行為に適切に対処するとともに、遅滞なく供用開始区域内において公共汚水ます設置工事を実施する。未接続世帯や集合住宅所有者等に対し、直接訪問による接続依頼を実施する。また、市内全小学校を対象とした出前講座を行う等、下水道の普及促進に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①汚水管布設替工事	280	422	674	m	
		②公共汚水ます設置工事	354	356	298	か所	
		③戸別訪問件数	670	1,153	1,088	件	
		事業費	195,297	121,662	167,300	千円	
		人件費	15,607	16,348	16,263	千円	
		総事業費	210,904	138,010	18,356	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①公共汚水ます設置1か所あたりコスト	193	205	228	千円/か所		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
①老朽管改築更新延長		実績値	280.0	422.0	674.0	m	
		目標値	280.0	410.0	673.0		
②下水道接続率		実績値	83.8	85.0	86.3	%	
	目標値	83.5	85.3	86.3			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	C 旧区画整理地内において、老朽管を更新する布設替工事は計画どおりに実施することができた。また、送煙調査を汚水本管1,678m、184世帯で実施した結果、異常が確認された31世帯の全世帯に対し、戸別訪問、修繕等を年度内に実施することができた。排水設備からの不明水が確認され、これを修繕したことで不明水が微減したと考えられる。よって、不明水対策は、排水設備の不明水調査に取り組むことが喫緊の課題である。 生活環境の改善や使用料収入の増加を図るため、今まで以上に接続率の向上策に取り組む必要がある。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 面的な整備は概ね完了しており、今後は、既存施設の機能維持の確保及び重要幹線の耐震化に取り組んでいく。また、最重要課題である不明水対策は、本管、取付管だけでなく排水設備まで拡げて調査を行い、不明水の減少を図っていく。 ストックマネジメント計画に基づく事業の平準化及び適正な使用料の見直しを行い、経営基盤の安定を図っていく。また、戸別訪問等による接続率の向上に取り組んでいく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①老朽管改築更新延長	133	m			
②接続率(前年度未接続率86.3+過去3年間の接続率増加平均(1.4+1.2+1.3)/3)+努力目標0.1	87.7	%					